

## バレンタインチョコレートづくり

|      |   |
|------|---|
| 開講日  | 2月6日(土曜日)   |
| 時間   | 午前10時～正午  |
| 場所   | 町生涯学習センター 調理室   |
| 定員   | 8組(小学生と保護者)、<br>中学生以上の単独参加も可 (先着順)                            |
| 内容   | ハート型のチョコケーキ(12cm)とアーモンドロシェの作り方を学びます。大切な人に手づくりの品をプレゼントしてみませんか。 |
| 講師   | 塘田 雅美さん   |
| 参加費  | 1,500円  |
| 準備物  | エプロン、三角巾、タオル、袋(ケーキ持ち帰り用)                                      |
| 申込期間 | 1月20日(水)～1月29日(金)   |

## シニアのための脳トレピアノ

|      |   |
|------|---|
| 開講日  | 2月24日、3月10日、24日(水曜日:全3回)                                      |
| 時間   | 午前10時～正午  |
| 場所   | 町生涯学習センター リハーサル室  |
| 定員   | 5人(先着順)   |
| 内容   | 脳が生き生き若返る大人のグループレッスンをしませんか?初心者には一本指から、経験者にはレベルに合わせた奏法で指導されます。 |
| 講師   | 原 文香さん  |
| 参加費  | 1,500円  |
| 準備物  | 筆記用具  |
| 申込期間 | 1月20日(水)～2月10日(水)   |

### 俳句 大津俳句会

### 俳句 つのはな句会

深々と闇の中より霜の声

井芹眞一郎

トンネル抜け阿蘇野に探す福寿草  
志賀 孝子

真青なる空に見えざる幾筋の道  
通いで渡鳥くる

吉永 恵子

靴音の尖りだしたる冬の街

秋山 恵子

浮きながら感謝しながら年暮れる

田上 公代

自粛して買物すらもままならぬ  
飾り花とす石蕗の花

管野 静

コロナ禍に翻弄されて冬に入る

市原 初女

街灯に不況にじませ師走来る

木庭 杏子

蝉は抜殻のみ姿の見えず

豊岡ミツル

枯菊や色香残してまだ立てり

大塚喜久子

阿蘇原野ヤマタノオロチ冬眠す

上杉 波

緑陰の少なきわが家の庭なれば

坂本 セキ

吊し柿夕日にとけ込み赤めける

坂本 セキ

誘惑の罠ふくらます冬の霧

矢嶋 道子

蟬は抜殻のみ姿の見えず

坂本 純子

冬の蠟申し訳なく叩きをり

佐賀 久子

烟に播きし冬菜ひと畝青深かむ

水野 春子

兩羽根に黄の花粉抱き巣に入る

坂本 純子

島々に入相の鐘冬夕焼

松尾 昭雅

煙に播きし冬菜ひと畝青深かむ

水野 春子

遺伝子というも蜂は哀しき

坂本 純子

あちこちに道路工事や十一月

岡崎 浩子

煙に播きし冬菜ひと畝青深かむ

水野 春子

ほろ酔いの色して十五夜流みゆ

坂本 純子

けんめいに生きて夕餉の南瓜膳

塚本 洋子

ほろ酔いの色して十五夜流みゆ

坂本 純子

境界線のほつれにかかる冬の月

榮田シノブ

ほろ酔いの色して十五夜流みゆ

坂本 純子

しっかりと生まれてをりぬ冬木の芽

森山美穂子

ほろ酔いの色して十五夜流みゆ

坂本 純子

銀杏舞い孤愁に満ちたるこの夕

坂本 純子

### 短歌 大津短歌会

まきお  
真青なる空に見えざる幾筋の道

通いで渡鳥くる

吉永 恵子

### 俳句 大津俳句会

トンネル抜け阿蘇野に探す福寿草

志賀 孝子

浮きながら感謝しながら年暮れる

田上 公代

自粛して買物すらもままならぬ  
飾り花とす石蕗の花

管野 静

コロナ禍に翻弄されて冬に入る

市原 初女

街灯に不況にじませ師走来る

木庭 杏子

蝉は抜殻のみ姿の見えず

豊岡ミツル

枯菊や色香残してまだ立てり

大塚喜久子

阿蘇原野ヤマタノオロチ冬眠す

上杉 波

緑陰の少なきわが家の庭なれば

坂本 セキ

吊し柿夕日にとけ込み赤めける

坂本 セキ

誘惑の罠ふくらます冬の霧

矢嶋 道子

蟬は抜殻のみ姿の見えず

坂本 純子

冬の蠟申し訳なく叩きをり

佐賀 久子

烟に播きし冬菜ひと畝青深かむ

水野 春子

兩羽根に黄の花粉抱き巣に入る

坂本 純子

島々に入相の鐘冬夕焼

松尾 昭雅

煙に播きし冬菜ひと畝青深かむ

水野 春子

遺伝子といふも蜂は哀しき

坂本 純子

あちこちに道路工事や十一月

岡崎 浩子

煙に播きし冬菜ひと畝青深かむ

水野 春子

ほろ酔いの色して十五夜流みゆ

坂本 純子

しっかりと生まれてをりぬ冬木の芽

森山美穂子

ほろ酔いの色して十五夜流みゆ

坂本 純子

銀杏舞い孤愁に満ちたるこの夕

坂本 純子